

日本発ドイツ便り：ビール醸造所の星



バイエルン州にはビール（Das Bier:ビア）の醸造所が3000位あると言われています。
そのうちの約1/3がフランケン地方にあるそうです。



醸造所の建物や看板に、時々、2つの正三角形（△と▽）を重ねた星（日本語では六芒星または六角星）のマークを見かけることがあります。

このマーク、一般的には「ダビデの星」＝ユダヤ教・ユダヤ民族を象徴する印として知られていますよね。
ドイツのビール醸造所にダビデの星？とちょっと不思議に思っていたのですが…。

ちなみにビール醸造所は Brauerei（ブラオエライ）といいます。

まず少しドイツのビールについてお勉強です。

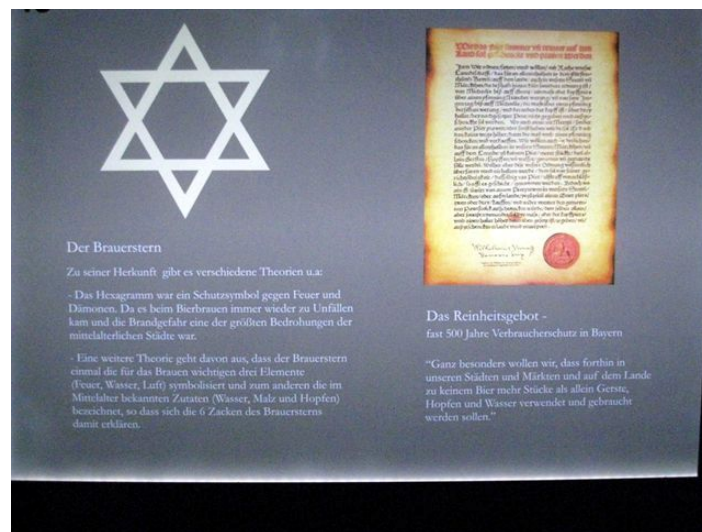
ドイツのビールは1516年にバイエルン（このときはまだドイツという国はないので、バイエルン公国）のヴィルヘルム4世が「ビール純粋法（Das Reinheitsgebot:ラインハイツゲボット）を制定。この法律では「ビールは大麦、ホップ、水のみを原料とすべし」と定められています。（1556年には上記に加え、酵母も使ってよいことになりました。）

この法律制定には、

- ① ビールの品質の向上
- ② 小麦やライ麦はパンの原材料でもあるので、食料確保のため。
という2つの理由があったようです。

1871年のドイツ統一の際、バイエルンは統一の条件として「ビール純粋法」をドイツ全土に適用させること求めたのだとか。そんなこんなで、「ビール純粋法」は現在でも有効な食品に関する法律としては世界最古のものなのです。ドイツの（とくにバイエルンの）ビールへのこだわりが分かりますねえ。

で、星の話ですが、正式には Der Brauerstern（ブラオアーシュテルン：醸造所の星）と呼ばれるようです



この星の由来にも2つの説があって、(写真右が「ビール純粋法」です。)

- ① 2つの△はそれぞれ、「火」と「悪魔」からの守護のシンボルである。(ビール醸造所には火事が多かったのだそうです)
- ② 1つの△はビール醸造に必要な「火・水・空気」という3つの要素、そしてもう1つの△は「大麦・ホップ・水」というビールの3つの原材料を示している。
というものです。どっちの説明もなるほどなあ。という感じがします。



ドイツのビールは味と香りを楽しみながら（冷やしすぎにご注意）ゆっくり楽しんでください。

ドイツには「とりあえずビール。」は存在しません。最初から最後までビールです。

おつまみだって不要です。おいしいドイツビールに Prost!（プロースト！：乾杯！）

日本発ドイツ便り ~ビール醸造所の星~ von Eriko T. am 14/02/2010

(一部写真提供:Herr K.Takano, Danke schön!)